



**全国手をつなぐ育成会連合会
第2回 全国大会(名古屋)に参加しました!**

**手をつなぐ
とやま**

第158号

富山県手をつなぐ育成会
富山市安住町5-21
富山県総合福祉会館内
TEL 076-441-7161
FAX 076-441-7255
mail toikusei@minos.ocn.ne.jp
HP <http://toyamaikusei.jp/>
発行責任者
平野 幹 夫

みなさんの会報です
よく読みましょう

— あなたです! 差別されるのも されるのも —



**全国大会、楽しかったよ!
全体会のステージに、
飛び入り参加しました!**



**わかりやすいお話と、
先輩保護者3名の体験談
が大好評!
(9ページに掲載)**



**学齢期部会「障害基礎年金 研修会」
第2弾!**



第2回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会(名古屋大会)

平成27年9月26日(土)・27日(日)

全国手をつなぐ育成会連合会が、新たにスタートを切って、第2回目の全国大会が名古屋市内で、東海北陸大会併催で開催されました。

全国から3300名と、大変多くの参加者があり、育成会大会、本人大会ともに、どの会場も、人・人の大盛況。

富山県からは、57名(内、本人12名)が参加しました。

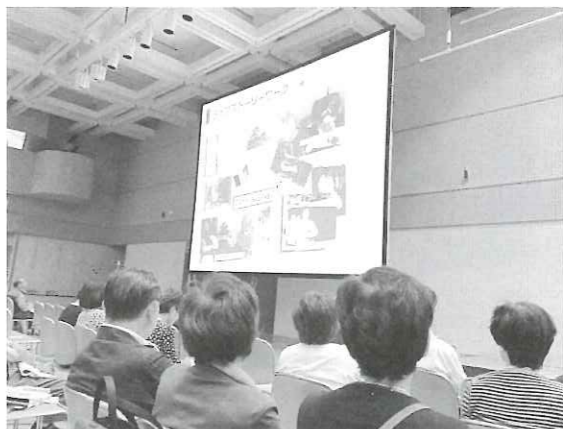
初日は、分科会。今大会のテーマは次の通りです。

- ◆Aコース そだつ
- ◆Bコース はたらく
- ◆Cコース くらす
- ◆Dコース 高齢

◆映画祭
分科会は、従来の大会とは少し異なるスタイルになっており、1時間〜1時間半ごとに設定された

— 差別ない 心で広げる 豊かな社会 —

左の写真は、本人の記録を残す手段として紹介された、「ライフストーリーワーク」です。
1枚の用紙に、本人の大好きなお菓子の包み紙や、好きな事をしてる時の笑顔の写真等が貼られています。



とても気になる「高齢」コースでは、障害のある本人が40歳代に差しかかった時が、人生の伴走者の交代時期となることを、親自身が自覚し、他者にゆだねる準備を行うことを提言されました。
本人が高齢期になった時の、すこやかな人生を支えるために、40・50歳代の人生の折り返し時点からの準備として、本人に関する

情報のまとめ、早期からの健康への留意、住まいの選択、豊かな生活体験を繰り返しながらの意思決定支援、成年後見制度などの利用、収支の予測などがあげられました。
成年後見制度の利用については、メリットもデメリットもあるので、制度を利用する前に、「親



自身が、よく、制度の内容を勉強しておいてください」という、講師からの助言もありました。
どの分科会でも、合理的配慮と意思決定支援、そして昨年引き続き、「本人にとっての最善の利益(ベストインタレスト)」がキーワードであったと感じられました。
2日目は全体会。
「手をつなぐ母の歌」で幕が上がり、大会式典、中央情勢報告、国会議員シンポジウムが行われました。

表彰おめでとうございます

式典では、全体を代表して、御福さんが感謝状を授与されました。



【全国大会 感謝状】

御福光雄氏

(社福)セーナー苑

わかくさの丘 施設長

【東海北陸大会 感謝状】

中瀬真優美氏

新川障害者就業・生活支援センター主任、就業支援ワーカー

【東海北陸大会 表彰状】

佐藤信雄氏

砺波市手をつなぐ育成会 顧問

川口幸宏氏

高岡市手をつなぐ育成会 会長

国会議員シンポジウム

障害者総合支援法施行後3年目の見直しのテーマである、高齢化対策、意思決定支援、成年後見制度、地域拠点施設、就労支援等について、現在、議論されている内容と見直しについて、国会議員の皆さんからのお話がありました。

ご自身も、お子さんに障害があり、育成会員でもあるという議員からの、「親亡き後安心生活支援法を作ろうではありませんか!」という声には、会場全体から大きな拍手が沸き起こりました。

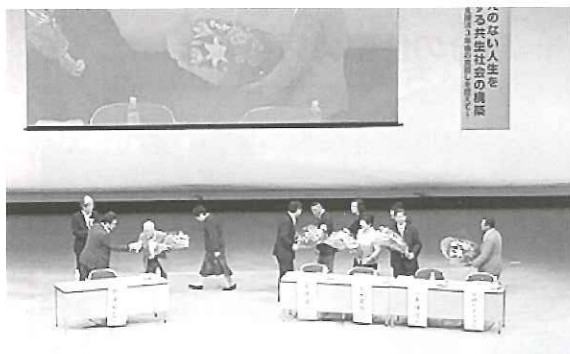
「育成会」は市町村、県、全国とつながる、一つの団体として、知的な障害のある人の今と将来を見据え、現状の問題と、これから何が必要なのかを訴えています。

そして、その声は確実に中央に届いています。

その例として、今回、国会議員シンポジウムの最後に登場した、名児耶(なごや)清吉さん。

障害のある娘さんが、被後見人になったことで、選挙権が奪われたことに対して、選挙権の回復を求める運動を、全国の仲間と手をつないで展開しました。結果は皆さん、ご存知の通りです。

この選挙権回復の運動にも、力強い支援をしてくださった議員の皆さんと、名児耶さんに、花束が贈られ、全体会は終了しました。



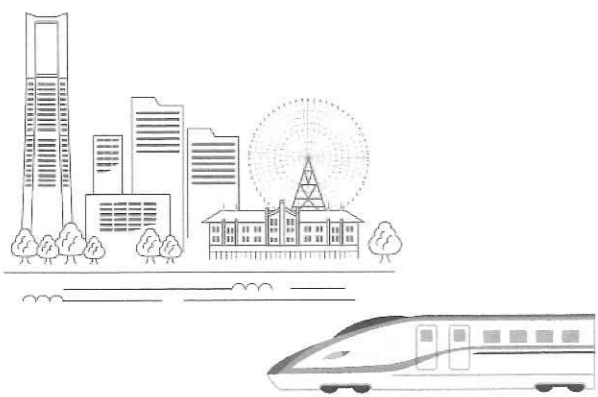
来年は神奈川大会です!

来年の全国大会は、7月2日(土)3日(日)に神奈川県横浜市で、開催される予定です。

会場は、みなとみらい、元町、中華街のすぐそこ!

北陸新幹線を利用して行こうかな……と、事務局では現在、計画をたてています。

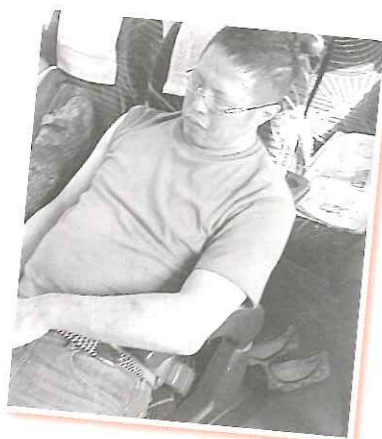
例年に比べ、少し早い時期の大会開催となりますが、是非、皆さんご参加ください。



なれない土地での、地下鉄の利用でしたが、鉄道オタク、マニア、博士の串岡さんが、前日の夜、単独で名古屋駅まで下見をしてくれたおかげで、移動はスムーズに！



分科会や交流会が終わり、一度ホテルに戻ってから、希望者が集まって、地下鉄で名古屋駅まで行き、おみやげを買ってきました。



大役(?)を果たして、帰りのバスではグッスリの串岡さんでした。



本人の交流会では、富山のいいところを、たくさん、せんでんしてきました。



あっというまの、3日間。来年の神奈川大会が、楽しみです！



なくそう差別 守ろう人権

全国大会本人大会

富山県育成会からは、本人大会に11名が参加しました。

今回は、親もつらやむような、豪華な講師陣の話を聞き、自分の思いを発言していく形です。毎回、全国大会で積極的に発言している富山のメンバー、もちろん今年も、大かつやくでした！

本人大会 分科会のテーマ

- ☆第1 「はたらくことと相談」
- ☆第2 「くらすことと相談」
- ☆第3 「みんなで話そう」
- ☆第4① 「みんなで楽しもう」
- ☆第4② 「バス観光ツアー」

思いっきり名古屋、楽しんだぜ〜!



富山の本人部会に、又村さんを講師で呼んでください！みんなにも、聞いてほしい。



ていねいな言葉で、自分の仕事の話をしました。



おんがくかつどう 音楽活動について、みんなに発表!



第1分科会 O×クイズ。富山のメンバーは、早々に、まちがえてしまったとか……



あつあぶない 子供は動く 赤信号

平成28年度 富山県予算に対する要望書

平成27年10月30日に提出しました

1. 権利擁護の推進

- (1) 県条例に基づき、わかりやすいガイドラインづくりをはじめ、地方公共団体職員対応要領の作成や良い配慮事例の収集・PRなどを通じた、知的障害者理解啓発の推進
- (2) 市町村における「差別解消支援地域協議会」の設置を促進し、地域における障害特性の理解啓発とそれに伴う環境整備の推進
- (3) 本人の高齢化や親亡き後を見据えて、市町村における成年後見人の育成と成年後見センターの整備促進など成年後見制度の普及・啓発
- (4) 「障害者虐待防止法」を周知徹底するための研修等の推進及び指導・助言体制の整備

2. 障害児支援の充実強化

- (1) 子育て支援施策、家族支援施策、及び療育支援施策の一層の充実強化、並びに人材等必要な福祉資源の整備や支援事業の拡充
- (2) 行動面で特別な配慮を必要とする支援学校高等部の生徒が卒業後に事業所や施設で受け入れが進むよう、特別な支援に必要な人材の確保

3. 特別支援教育の充実

- (1) 普通学校(学級)と特別支援学校(学級)との交流や共同学習の更なる推進、及び障害のある子どもに対する理解啓発の促進
- (2) 教職員に対する障害特性にかかる理解啓発研修や相談支援の充実など、特別支援教育の強化

4. 地域生活支援の推進

- (1) きめ細かな相談支援体制の整備、及びサービス等利用計画の作成に見合う報酬単価への改善
- (2) 重度障害者の緊急時の一時預かりや必要な時に利用できるよう、ショートステイの整備推進と支援員に対する障害特性に関する理解啓発研修や適切な支援
- (3) 障害者の高齢化や認知症化、重度化に対応できるよう、介護保険・医療との連携をはじめ、地域生活支援拠点の整備推進
- (4) グループホーム、共生型グループホーム、生活介護事業所等の設置に伴う地域住民に対する理解啓発策の構築及び支援、並びに整備費所要額の確保
- (5) グループホームにおける医療的ケアや強度行動障害、高齢化に伴う特別なニーズ等に対応できる支援員の配置と報酬単価の適正化

5. 地域における防災対策・安心安全対策の推進

- (1) 障害のある人の災害時への避難対応策等の確立、及び災害時に支援学校が生徒の緊急避難場所等として活用できるように体制整備
- (2) 障害者を含む家族の生活支援を図るため、要支援者の把握及び市町村行政と関係機関との情報共有、連携体制の強化

「とやま版あんしんサポートノート」 を書いてみませんか！

各支部では、どんな取り組みをしていますか？

施設の保護者会時に、ノートとクリアブックも一緒に配布して、書き方の説明会を開催しました。

今回は、グループ分けして、ノートを書いてみたいと思います。

施設職員との面談に先立ち、ノートの数頁を書いて、三者面談では、このノートをもとに話し合い、共通理解を深めました。

役員会でノート学習会をして、その後で、会員全員に対し説明会を実施する予定です。

サポートノートのお勧め①

年金申請やサービス利用時にサポートノートを活用しましょう！

障害基礎年金の申請やサービス等利用計画の作成など、いろんな機会に成長の記録や病歴などが必要となります。

日頃から準備しておくことで、支援の手助けに、将来の安心につながります。



- (1) 入所施設の個室化やバリアフリー化などの環境整備を含めた施設の整備及び地域事業所の施設設備の整備や改修への支援
- (2) 共生社会の実現を目指した「とやま地域共生型福祉推進特区」を活用した規制緩和の推進

7. 処遇環境の改善

- (1) 障害者優先調達法による発注拡大に努めるとともに、「富山県工賃向上支援計画」を検証し、障害者が地域で自立した生活が送れるよう、所得保障の拡充
- (2) 知的障害者に配慮した就労促進と雇用の拡大・定着が図られるよう、障害特性の理解啓発や支援専門員の拡充及び関係機関相互の連携

平成27年10月30日に、富山県厚生部、商工労働部(労働雇用課)、教育委員会(県立学校課)に対して、県育成会から7名の理事等により要望活動を行いました。

要望後にそれぞれ懇談する時間を設けていただき、日頃の思いや懸念事項を話し合うことができました。

★県条例について(厚生部)

平成28年4月から県条例が施行されるので、県民全体の理解が深まるよう努めたい。障害者差別解消ガイドラインも作成中であり、知恵もいただきたい。

★障害者雇用について(商工労働部)

障害者雇用推進員による事業所訪問をはじめ、優良事例の紹介などを通して、就労支援や定着支援につなげていきたい。

★障害者への理解啓発について(教育委員会)

支援学校進学者の出身校区の学校との交流機会、支援学校と近くの学校との交流などを通して、今後とも、地域における幼少時からの理解啓発に努めたい。

地域事業所部会「第12回職員研修会」

講師 村上 満氏
(富山国際大学 子ども育成学部 教授)

平成27年8月23日(日)、呉羽ハイッにて、第12回地域事業所職員研修会を開催しました。

今回の講師、村上先生ご自身、平成9年に、生まれ故郷の八尾町で、無認可の施設を立ち上げ、障害のある人の積極的な社会参加と、地域の住民・商店街・企業・観光客等と連携しながら、地域の活性化やまちづくりを展開されてきました。

今回は、その村上先生に、利用者支援の在り方についてご指導いただきました。

アン・ボン・タン問題

社会を取り巻く『アン・ボン・タン』問題。昔、よくアンボンタン！と言われたな……という思いは別にして、こちらのアンボンタンは、
「アン」安心・安全を確保する

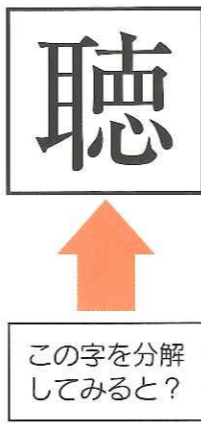
一人権は かけ声よりも 心がけ

環境として、家庭や地域でのつながり。
「ボン」本音を言い合える関係として、本心・本当の自分らしくいられる場づくり。

「タン」単純(簡単)なやさしい地域生活づくり。
知的障害のある人、その家族にとつてのやさしい環境づくりが求められるとのことでした。

まずは聴くことが
最大の権利擁護

村上先生といえば、「傾聴」。この研修でも、「聴く」ことの重要性を強調されました。



「聴」という字を分解してみると……「耳」に「目」と「心」という字が足されて(+)います。相手が聞いてほしいタイミングで、耳を傾け、見て、聞いて、感じて、その人の思いを知ることが最大の権利擁護。
振り返ってみると、当たり前のように、意外とできていないと実感しました。

「やさしい環境づくり」を

午後からのグループ別ワークショップでは、遅刻や休みがちな利用者、作業中のトラブル、突然のパニック、こだわり、異性への強い関心、家庭環境などの、思わず「あるある」とうなずくようなテーマで、事業所、職員が抱える利用者支援の悩み、問題などの話し合いを行い、村上先生から、それぞれのグループへの助言をいただきました。

ひとりひとり違う特性を持つ利用者の声に丁寧に耳を傾け、家族や周りの人と連携をとること、一人一人の強み(長所)や地域の強みに焦点を当てた、ストレッチングの視点を持って、その人らしく生きるための「やさしい環境」を作り上げていくこと、などの大切さを学びました。



第2弾 学齢期部会「障害基礎年金研修会」

講師 松井 貞樹氏
(障がい者サポートセンター きらり 相談支援専門員)

3月の開催に続き、第2弾研修会を、9月12日(土)に、サンシップとやまで開催しました。

前回に続き、講師は松井さん。前回は参加されたりピーターも含め、多数ご参加いただきました。そして今回の目玉は、既に、障害基礎年金受給の申請を済ませたという、

- ・上野あけみさん(富大附属出身)
- ・本田 薫子さん(富大附属出身)
- ・宇崎崎俊陽さん(高岡支援出身)

3名の先輩保護者の皆さん！
まずは、講師の松井さんより、障害年金について、実際に、よく相談を受ける内容について、Q&A形式でお話ししていただきました。

- ・ズバリ、いくらもらえるの？
- ・何歳からもらえるの？

- ・どこに申請に行けばいいの？
- ・年金をもらう資格はあるの？
- ・相談できる場所は？
- ・精神医療機関を受診するの？
- ・病院の医師はなぜ重要なの？
- ・働いていると、もらえないの？
- ・障害厚生年金はもらえるの？
- ・申請はどうしたらいいの？
- ・申立書を書くポイントは？
- ・申請が却下されたらどうする？

……など、申請なんて簡単！すぐにできると思っていたけど、実際に順を追って考えてみると、わからないことだらけ。3名の先輩方も、「そうそう、ここがわからなかったよね」とうなづいています。そこを、一つ一つ、丁寧にわかりやすく解説していただきました。

また、障害年金は「生きていく

ひとりひとりが 考える 実践活動

ために必要なお金」ということで、障害のある人が、実際にいくらあれば生活していくことができるのか、グループホームで暮らしながら、一般企業就労(フルタイム、パートそれぞれ)をしているケース、福祉サービス事業(A型、B型、就労移行、生活介護それぞれ)を利用してケースの収入・支出を、わかりやすい表にして説明していただきました。
グループホームでの暮らしにかかる費用や、収支について、初めて知るといふ参加者も多く、「これだけしか残らないのか……」という声が多く聞かれました。
先輩保護者の皆さんからは、事前の準備不足で、時間が足りないことと焦った経験や、病院、医者探しの苦労、受給後の年金の使い方や、学校卒業後の生活等について、次々とあがる参加者からの質問に答える形で、教えていただきました。

詳細は、参加者だけの特典というところで、ここでは割愛しますが、先輩方が口を揃えたのは、「成育歴を書くのが大変だった」という

こと。幼少期からのことを思い起こすのは、とても大変なことだ、「私たちが申請する前に、あんさんサポートノートがあれば良かったなあ。これから申請する人は、書いておけばいいですよ！」とのことでした。

参加者アンケートから

- ・2回目の参加でしたが、大事なポイントの再確認ができました。
- ・先輩方の話が、とても参考になりました。今から少しずつ準備をしていきたいと思えます。
- ・卒業後の収入・支出を具体的に知ることができて良かったです。
- ・あんしんサポートノートを書いていこうと思いました。
- ・成人前の精神科受診の重要性が理解できました。
- ・申請書の書き方が、とてもよくわかり、参加して良かったです。

障害のある人の生活を支える、大切な年金。しっかり準備をして、申請に備え、受給後は、本人の豊

かで、楽しみのある生活のために使っていきたいものです。

本人活動部会

「全国大会の報告・公共交通の利用について」

平成27年10月4日(日) サンシップとやま

全国大会に参加した次の週末、早速、本人部会を開催し、全国大会の報告会と、公共交通の利用について話し合いをしました。

みんなが、撮影してきた写真をスクリーンで見ながら、それ



ぞれ、自分が参加した分科会の報告と、大会の様子を説明します。

「はたらく」に参加した人は、自分と同じような仕事をしている人と語りあい、おたがい、これから頑張ろうと励まし合ってきたそうです。また、困った時には、相談することや、相談できる所を知っておくことの大切さも勉強してきたことでした。

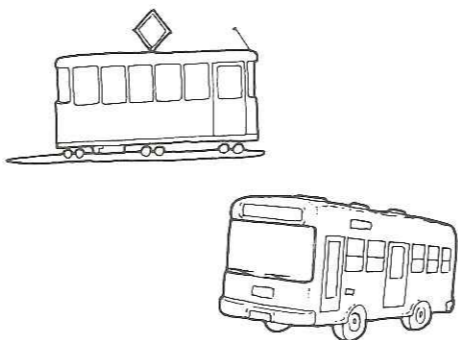
楽しい、全国大会の報告会の後は、11月21日に運輸局と県育成会の主催で開催される、「バリアフリー研修会」の準備

のため、公共交通について話し合いをしました。



今日の本人部会の会場、富山市までは、各自、バスや電車を利用してやって来た人ばかり。普段から、公共交通機関を利用

しているだけあって、利用しているときの、困った事やイヤなこと、また、うれしかった事などを聞いてみると、次々と手があがりました。
ここでの話し合いの内容は、公共交通事業者の方も参加される、バリアフリー研修会で、本人を代表して、中村さん、谷井さん、串岡さんが、しっかりと発表をしてくれます。
(次の会報に、その様子をのせます。お楽しみに！)



県知事表彰(厚生功労) 服部 隆則さん(富山市)



富山県知事表彰を受章された服部隆則さん

富山市育成会会長の服部隆則さん(あざみ園・県育成会理事)が、11月29日の富山県社会福祉大会において、富山県知事表彰(厚生功労)を受章されました。

服部さんは、平成9年より、当会監事、同21年より同理事として、当会の事業運営に多大な貢献をされるとともに、平成21年より富山市育成会長として、多様な年代や環境にある会員をまとめ、地域福祉の推進に寄与されています。服部さん、おめでとうございます。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

ふれあい育成スポーツ大会 4エリアで開催

ふれあい育成スポーツ大会が、9月16日に新川エリア、17日となみエリア、25日に富山エリア、高岡エリアで開催されました。参加者は、合わせて約2200名を超え、趣向を凝らした競技に、楽しく汗を流しました。

開催にあたり、各エリアの学校、施設、事業所の職員、地域のボランティア、保護者の皆様のご支援、ご協力をいただきました。どうもありがとうございます。



2015パイロットウォーク 参加しました!



10月18日(日)、富山市ファミリーパーク園内で、2015パイロットウォークが開催されました。

富山県育成会からは、学齢期の親子を中心に43名、富山市育成会の青年の会からは約100名の参加があり、気持ちの良いお天気の中、ファミリーパークの職員さんに説明をしていただきながら、動物たちと楽しくふれあいました。富山パイロットクラブ様、今年もどうもありがとうございます。

富山県育成会ホームページ

富山県手をつなぐ育成会のホームページをご存知ですか?
富山県育成会の研修会や、全国育成会連合会の大会、セミナー、県内のイベント等の情報を掲載しております。

現在、期間限定(予定)で、全国大会(名古屋)の本人中心のアルバムを公開中です。

また、停止中のブログも、近々、装いを新たにして、ホームページ経由で研修会報告や本人の活動等をお知らせできるようにしたいと思います。

地域支部、エリア等での研修会や、イベント等の情報も掲載していく予定です。県育成会事務局まで、是非ご一報ください。

検索する際には、「富山県育成会」と入力してください。



「生活サポート総合補償制度」の主な特徴

- * ご加入に際して健康診断や、医師の診察は必要ありません。
- * ケガや病気による入院が補償の対象となります。
- * 既往症やてんかん発作による入院をはじめ、治療のための検査入院でも補償の対象となります。

ご希望に応じて
2つのプランから
お選びいただけます。

入院給付金(1,2,3)の補償開始について	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	30日目
入院2日目から補償プランB	補償しません	2日目から補償開始!!				
入院4日目から補償プランA	補償しません			4日目から補償開始!!		

補償内容	補償項目	新プラン 入院2日目から補償プランB	3泊4日以上入院 入院4日目から補償プランA
入院給付金 <small>(既往症、てんかん発作などによる入院も対象となります。)</small> 被保険者が病気やケガの治療(治療のための検査を含みます。)により、補償期間中に開始した入院が補償の対象となります。 <small><ご注意></small> ・④入院一時金は、①付添介護保険金、②差額ベッド費用、③入院諸費用のいずれかの支払日数が30日に達した日の翌日以降の入院についてはお支払いできません。 ・④入院一時金の単独でのご請求はできません。	①付添介護保険金 <small>(傷害疾病付添介護保険金) 付添介護を受けた日1日につき</small>	8,000円	8,000円
	②差額ベッド費用 <small>(傷害疾病入院時差額費用保険金) 差額ベッド代が生じた日1日につき</small>	3,000円	3,000円
	③入院諸費用 <small>(傷害疾病入院諸費用保険金) 入院1日につき</small>	1,000円	1,000円
	④入院一時金 <small>(傷害疾病入院一時金) 1入院につき</small>	6,000円	5,000円
個人賠償責任保険金 ※1 <small>日常生活中に偶発的な事故により他人にケガをさせたり、他人の物等に損害を与えて法律上の損害賠償責任を負った場合が補償の対象となります。</small> <small><ご注意></small> ・保険金は、被保険者が負担する損害賠償の責任の割合に応じてお支払いします。損害賠償の責任の割合は、特定の行為を繰り返す場合等、頻度やその事故の内容により変わります。 ・てんかんの発作に直接起因する事故は補償の対象にならないことがあります。	⑤個人賠償責任補償 <small>1事故あたり支払限度額</small>	3億円	1億円
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 <small>被保険者が補償期間中にケガを被った場合が補償の対象となります。</small> <small><ご注意></small> ・意図性のない自傷行為は補償の対象となりません。 ・てんかんの発作に直接起因するケガは補償の対象となりません。 ・⑧入院保険金は「入院給付金」①②③④と重複してお支払いします。	⑥死亡保険金	100,000円	100,000円
	⑦後遺障害保険金 <small>後遺障害の程度に応じて</small>	4,000~100,000円	4,000~100,000円
	⑧入院保険金 <small>入院1日につき(180日限度)</small>	5,000円	3,000円
	⑨通院保険金 <small>通院1日につき(90日限度)</small>	3,000円	2,000円
	⑩手術保険金 <small>1事故につき1回 事故の日からその日を含め180日以内に受けた所定の手術で1事故につき1回の手術に限ります。</small>	50,000円、25,000円 <small>(入院中) (入院中以外)</small>	30,000円、15,000円 <small>(入院中) (入院中以外)</small>
病気で死亡したときの補償 <small>被保険者が補償期間中に病気で死亡し、補償期間中または補償期間の終了日から60日以内に葬儀が行われた場合に、親族の方が実際に負担した葬祭費用が補償の対象となります。</small>	⑪葬祭費用保険金 <small>(疾病葬祭費用保険金) 支払限度額</small>	100,000円	100,000円
	地震などによる傷害(ケガ)の補償 <small>被保険者が、地震、噴火またはこれらによる津波によりケガを被った場合、⑥死亡保険金、⑦後遺障害保険金、⑧入院保険金、⑨通院保険金、⑩手術保険金が補償の対象となります。</small>	⑫地震・噴火・津波補償	補償されます
	掛金(1年間)	23,000円 <small>(保険料19,810円)</small>	17,000円 <small>(保険料14,810円)</small>

※1 施設職員が業務中に施設利用者から被害を受けた場合は、通常政府労災保険の適用となります。
 ※2 他人の物でも、預かって借りている物への損害は補償の対象となりません。
 ●掛金には会費(制度運営費)が含まれています。
 ●個人賠償責任補償がすでにご加入の別の保険にセットされている場合には補償が重複することがあります。ご契約前に補償内容を十分ご検討ください。

富山県知的障害児者生活サポート協会だより

2016年4月1日
から新プラン発売
のお知らせ

入院給付金を1泊2日以上から補償、最高3億円まで補償
 ~今のプランはそのままに、新プランBを追加、いずれか選択できます~

生活サポート総合補償制度 新プランBの特長

1. 1泊2日以上入院から対象
 病気・ケガの入院給付金は、1泊2日以上入院から補償します。
2. 個人賠償を最高3億円まで
 自転車事故など高額賠償化に備え、個人賠償を最高3億円まで補償します。
3. 既往症の病気、てんかんを補償
 年齢にかかわらず、知的障害児者・自閉症児者の方であれば、どなたでも加入いただけます。
 入院給付金は、既往症の病気、てんかんを補償します。

補償プランA(17,000円)から、補償プランB(23,000円)への切替方法

2016年2月に、加入依頼者の方へ継続案内はがきを送付しますので、ご返送ください。

▼はがき記入例

補償プランBに変更する場合

加入プラン変更

右記プランに変更します。 **B**

【記載に際して】
 ①チェックボックスに✓点
 ②二重線枠内にBとハッキリ記入

富山県サポート協会では、アール・ブリュット作品を募集します

~アール・ブリュットとは「生(き)の芸術」というフランス語です~



2015年度入賞作品「はる」
富山市 石仙 拓洋 作

2016年度から、「生活サポート総合補償制度」パンフレットにアール・ブリュット作品が掲載されております。全国から作品を募集し、全国的障害児者生活サポート協会にて選考され、第一回入賞作品3点に、富山市の石仙拓洋さんの「はる」が選ばれております。

富山県サポート協会では、次年度も作品の募集をいたします。作品発表の場として、どうぞご利用ください。

締切は、2016年2月末日必着
 応募作品は、お一人様一点に限ります。
 応募用紙に必要事項を記入の上、作品はパソコンで加工できるファイル形式にて、メールまたはDVD等で送付ください。
 詳細については、富山県知的障害児者生活サポート協会事務局までお問合せ下さい。

お気軽にご連絡ください。

- 富山県手をつなぐ育成会内 富山県知的障害児者生活サポート協会
 電話 076-441-7161 FAX 076-441-7255 (平日9時30分~16時30分)
- 担当代理店 ジェイアイシー金沢
 電話 076-223-0323 FAX 076-223-0368 (平日9時~17時)

運転は 心の広さの バロメーター

あたたかい 心と心のふれあいで 守ろう人権

富山県育成会の会員になりませんか!

知的障害のある本人たちの権利擁護を推進し、誰もが安心して暮らせる共生社会づくりを一緒に進めましょう。

正会員

障害のある人の保護者や家族

年会費

5千円(1世帯)

市町村支部や施設保護者会でさまざまな活動を行っていますので、市町村支部等にもご入会をお願いします。

賛助会員

育成会の活動を理解、応援して下さる方を募っております。

年会費

特別賛助会員 1口 3千円
賛助会員 1口 1千円

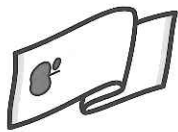
ご入会いただいた方につきましては、28年5月発行の会報にご芳名を記載させていただきます。(匿名でも結構です。)

お礼



富山県保育士会様より、今年もたくさんのお礼をいただきました。

作業所での自主制作製品に利用するなどして、大切に使用させていただきます。どうもありがとうございます。



育成会の動き

日時	内容
【報告】	
8/23(日)	第12回地域事業所職員研修会(呉羽ハイツ)
9/1(火)	理事会(サンシップとやま)
〃	施設部会(サンシップとやま)
9/3(木)	TDF事務局会議(県聴覚障害者センター)
9/4(金)	学齢期の保護者研修活動についての懇談会(サンシップとやま)
9/12(土)	「障害基礎年金」研修会(サンシップとやま)
9/16(水)	にかわ地区 ふれあい育成スポーツ大会(ありそドーム)
9/17(金)	となみ地区 ふれあい育成スポーツ大会(富山県西部体育館)
〃	県社会福祉協議会 評議員会(県民会館)
9/25(金)	富山地区 ふれあい育成スポーツ大会(富山県総合体育館)
〃	射水・高岡・氷見地区 ふれあい育成スポーツ大会(高岡市民体育館)
9/26(土)~27(日)	第2回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会(名古屋大会)
9/28(月)	心の輪を広げる体験作文・ポスター審査会(県民会館)
9/29(火)	県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研修会(サンフォルテ)
10/1(木)	共同募金運動(街頭キャンペーン)
10/4(日)	本人活動部会(サンシップとやま)
10/15(木)	第15回全国障害者スポーツ大会 結団壮行式(県庁)
10/18(日)	パイロットウォーク参加(富山市ファミリーパーク)
10/24(土)~26(月)	第15回全国障害者スポーツ大会(和歌山県)
10/25(日)	三重県育成会セミナー(四日市)
10/29(木)	富山県社会福祉大会(県民会館)
10/30(金)	平成28年度 県予算要望(県庁)
11/3(火)	「こだわりの強い」子どもへのよりそいかた 研修会(サンシップとやま)
11/9(月)	第三期県工賃向上支援計画検討委員会(県民会館)
11/11(水)	役員・支部長・相談員等合同研修会(呉羽ハイツ)
11/12(木)	サポート協会 東海・北陸ブロック会議(福井)
11/14(土)	福祉フォーラム(サンシップとやま)
11/15(日)	成年後見制度研修会〔初級編〕(サンシップとやま)
11/18(水)	施設部会「合同研修会」(新生苑)
11/21(土)	バリアフリー研修会〔運輸局と育成会主催〕(小杉社会福祉会館)
11/22(日)	とやまふれあい共生フォーラム(サンシップとやま)
11/25(水)	全国育成会連合会 権利擁護セミナー(栃木)
11/27(金)	施設部会「保護者交流会」(呉羽ハイツ)
12/3(木)	障害者週間キャンペーン(街頭活動)
12/4(金)	心の輪を広げる体験作文、障害者週間ポスター表彰式(県庁)
12/5(土)	成年後見制度研修会〔第三者後見編〕(サンシップとやま)
12/12(土)	きょうだい支援研修会(サンシップとやま)

おたがいに 気づかう心で 明るい社会